

上場会社名 株式会社 オプト
 (コード番号: 2389)
 (URL <http://www.opt.ne.jp/>)
 代表者 代表取締役社長 鉢嶺 登
 問合せ先 取締役CFO 小林 正樹
 TEL (03) 5561 - 6434

平成16年12月期 第3四半期財務・業績の概況(非連結)

第3四半期業績等の概況作成に係る事項

前年同四半期の数値につきましては、四半期決算を実施しておりませんので開示を省略しております。

当第3四半期における法人税等の計上基準は法定実効税率をベースとした見積実効税率により計算しております。

1. 業績

(1) 業績の概要

(単位: 百万円)

	平成16年12月期 第3四半期 自 平成16年1月 1日 至 平成16年9月 30日		前年度比	平成15年12月期 第3四半期 自 平成15年1月 1日 至 平成15年9月 30日		平成15年12月期 通期(参考) 自 平成15年 1月 1日 至 平成15年12月 31日	
	金額	構成比		金額	構成比	金額	構成比
売上高	6,320	100.0%	-	-	-	4,339	100.0%
営業利益	326	5.2%	-	-	-	297	6.9%
経常利益	300	4.8%	-	-	-	275	6.4%
当期純利益	167	2.7%	-	-	-	156	3.6%

(2) 平成16年12月期業績の予想

(単位: 百万円)

	金額
売上高	8,900
経常利益	414
当期純利益	218

2. 業績の状況

(1) 第3四半期(自平成16年1月1日 至平成16年9月30日)の業績の概況

当第3四半期(平成16年1月1日~平成16年9月30日)における我が国経済は、輸出・設備投資の復調を背景に引き続き景気拡大局面の傾向にあります。当社が属するインターネット業界においても、ブロードバンド接続の普及による利用者・利用時間の更なる拡大を土台に、eコマースやインターネット広告などインターネットサービス事業の活況ぶりが日々伝えられ、インターネット関連企業の社会的な認知度も飛躍的に向上しつつあります。

このような環境下、当社は引き続き営業職を中心に人員の増強を図り、拡大かつ多様化する顧客ニーズへの対応に努めてまいりました。

この結果、当第3四半期における業績は、売上高6,320百万円、営業利益326百万円、経常利益300百万円、純利益167百万円となりました。

(2) 事業の種類別の概況

各事業分野における活動状況は以下のとおりです。

<アド事業分野>

当事業分野においては、インターネット広告代理業と、マーケットプレイス型サイト(比較検討サイト)の運営を行っております。

当第3四半期においては、バナー広告など従来型広告に加え、急速に成長を続ける検索リスティング型広告市場、モバイル広告市場を確実に捕捉するため、営業職を中心に積極的な陣容拡大に努めてまいりました。また、マーケットプレイス型サイトについては、運営サイトのラインナップ拡充、および、ローン情報サイト「ローンギンザ・ドットコム」のYahoo! JAPANとのコンテンツ提携など提携によるトラフィック増加施策を進めてまいりました。

この結果、当第3四半期における当事業分野の売上高は5,941百万円となりました。

<ASP事業分野>

当事業分野においては、当社独自のeマーケティング効果測定システムADPLAN（アドプラン）の提供を行っております。

当第3四半期においては、急拡大を続ける検索リスティング広告とADPLANとのパッケージ商品を中心に利用企業数の拡大に注力しながら、第二四半期以降は高度化する顧客ニーズに応えるべく大幅な機能追加を含むバージョンアップ作業に注力してまいりました。

この結果、当第3四半期における当事業分野の売上高は129百万円となりました。

<ソリューション事業分野>

当事業分野においては、クリエイティブ、サイト開発、システム開発、リサーチ受託など、eマーケティングを総合的に支援するための周辺サービスを提供しております。

当第3四半期においては、継続的な需要の高まりをみせるクリエイティブ案件に対応すべく人員増強を図り、更なる受注に注力しました。この結果、当第3四半期における当事業分野の売上高は249百万円となりました。

(3)財政状態

当第3四半期における現金及び現金同等物（以下「資金」という）の期末残高は前期末と比較して808百万円増加（前期末比148.1%増加）し、1,354百万円となりました。

キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られたキャッシュ・フローは329百万円となりました。これは、主として売上の増加によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果得られたキャッシュ・フローは227百万円となりました。これは、主として新本社敷金及び新規事業投資によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果得られたキャッシュ・フローは706百万円となりました。これは、主として本年2月の新株発行増資によるものであります。

(添付資料)

1. 財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	平成16年12月期 第3四半期 平成16年9月30日現在		平成15年12月期 第3四半期 平成15年9月30日現在		前事業年度 通期(参考) 平成15年12月31日現在	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
(資産の部)		%		%		%
・流動資産	3,026,631	90.4	-	-	1,627,225	94.0
1. 現金及び預金	1,366,161		-	-	555,941	
2. 受取手形	2,595		-	-	37,438	
3. 売掛金	1,615,811		-	-	988,523	
4. その他流動資産	42,062		-	-	45,322	
・固定資産	321,089	9.6	-	-	104,054	6.0
1. 有形固定資産	30,728		-	-	13,277	
2. 無形固定資産	4,498		-	-	3,798	
3. 投資その他の資産	285,861		-	-	86,979	
資産合計	3,347,720	100.0	-	-	1,731,280	100.0
(負債の部)						
・流動負債	1,914,859	57.2	-	-	1,178,547	68.1
1. 買掛金	1,659,942		-	-	910,229	
2. 賞与引当金	43,964		-	-	-	
3. その他	210,951		-	-	268,318	
負債合計	1,914,859	57.2	-	-	1,178,547	68.1
(資本の部)						
・資本金	455,650	13.6	-	-	218,650	12.6
・資本剰余金						
1. 資本準備金	667,150		-	-	192,650	
資本剰余金合計	667,150	20.0	-	-	192,650	11.1
・利益剰余金						
1. 当期末処分利益	308,786		-	-	141,153	
利益剰余金合計	308,786	9.2	-	-	141,153	8.2
・その他有価証券評価差額金	1,274	0.0	-	-	278	0.0
資本合計	1,432,860	42.8	-	-	552,732	31.9
負債及び資本合計	3,347,720	100.0	-	-	1,731,280	100.0

(2)四半期損益計算書

(単位：千円)

	平成16年12月期 第3四半期 自平成16年1月1日 至平成16年9月30日		平成15年12月期 第3四半期 自平成15年1月1日 至平成15年9月30日		前事業年度 通期(参考) 自平成15年1月1日 至平成15年12月31日	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
		%		%		%
.売上高	6,320,784	100.0	-	-	4,339,921	100.0
.売上原価	4,964,505	78.5	-	-	3,308,208	76.2
売上総利益	1,356,278	21.5	-	-	1,031,713	23.8
.販売費及び一般管理費	1,029,915	16.3	-	-	734,670	16.9
営業利益	326,362	5.2	-	-	297,043	6.9
.営業外収益	582	0.0	-	-	128	0.0
.営業外費用	26,536	0.4	-	-	21,226	0.5
経常利益	300,408	4.8	-	-	275,944	6.4
.特別損失	18,343	0.3	-	-	-	-
税引前当期純利益	282,065	4.5	-	-	275,944	6.4
法人税、住民税及び事業税	114,432	1.8	-	-	119,171	2.8
当期純利益	167,632	2.7	-	-	156,773	3.6
前期繰越利益	141,153		-	-	15,619	
当期末処分利益	308,786		-	-	141,153	

(3)四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科 目	平成16年12月期 第3四半期 自平成16年1月1日 至平成16年9月30日	平成15年12月期 第3四半期 自平成15年1月1日 至平成15年9月30日	前事業年度 通期(参考) 自平成15年1月1日 至平成15年12月31日
	金額	金額	金額
.営業活動によるキャッシュ・フロー	329,359	-	33,424
.投資活動によるキャッシュ・フロー	227,078	-	1,059
.財務活動によるキャッシュ・フロー	706,587	-	26,533
.現金及び現金同等物の増加額	808,867	-	61,016
.現金及び現金同等物の期首残高	546,079	-	485,062
.現金及び現金同等物の期末残高	1,354,947	-	546,079